

創立者ダッドレー先生遺愛の机の長い旅

太平洋を往復した机によって新たに結ばれた絆の記録

井出 敦子

これは、神戸女学院の創立者のお一人、ダッドレー先生が米国へご帰国の際に持ち帰られた遺愛の机と椅子、そして付属の装飾品など一式が、先生のご親族と新たに結ばれた絆によって再び太平洋を渡り、岡田山に届けられた経緯の記録です。

1. 創立者ジュリア・エリザベス・ダッドレー先生

ジュリア・エリザベス・ダッドレー先生 Miss Julia Elizabeth Dudley (1840.12.5-1906.7.12) 召天110年にあたって、神戸女学院では2016年7月8日(金)に、飯謙学院チャプレンの司式による記念礼拝が守られました。

もう一人の創立者、初代校長のイライザ・タルカット先生にくらべて学院に伝わっている事績が少ないのは、1875年の創立から5年後には神戸ホーム、後の神戸女学院を出て女子伝道塾を始められたということも関係しているのでしょう。この塾は後に神戸女子神学校となり、神戸女学院より1年早く1932年に岡田山に移転、後に聖和女子学院となりそして、現在の関西学院西宮聖和キャンパスへとつながります。神戸女学院と同じくウィリアム・メレル・ヴォーリズが設計し、竹中工務店が施



写真1 創立者ジュリア・ダッドレー先生召天110年記念礼拝^①

工した校舎内には、この神戸女子神学校から持って来た銘板が掲げられたダッドレー・メモリアルチャペルが現存しており、西宮市都市景観形成建築物となっています。

1895年に引退して帰米後は、カリフォルニア州のラ・ホヤで暮らし、1906年7月12日に死去、故郷イリノイ州のネーパーヴィル・セメタリー^②に埋葬されました。



写真2 元KCC^③会長、Dr. David Larsonの墓参（1970年代）

2. ジュリア・ヴァッサー・サムソンさん

2015年の10月、ケンタッキー州レキシントン在住で、先生の弟、エドワード・ダッドレーさんの^{やしゃこ}玄孫(孫の孫)にあたるジュリア・ヴァッサー・サムソンさんから、KCC-JEEを通して「祖母の大伯母にあたるジュリアの机を神戸女学院に寄付したい」というメールが院長室に届きました。その後、やりとりを重ねて、いろいろな情報をいただきま



写真3 ジョン・サムソンさん、ジュリア・ヴァッサー・サムソンさんご夫妻



写真4 サムソン邸の居間に置かれていたダッドレー先生遺愛の机



写真5 ダッドレー家の6人の娘たち
左から Mabel, Helen, Nora, Julia, Edna, Ruth



写真6 ジェーン・ヘドガー・
エンガーさん

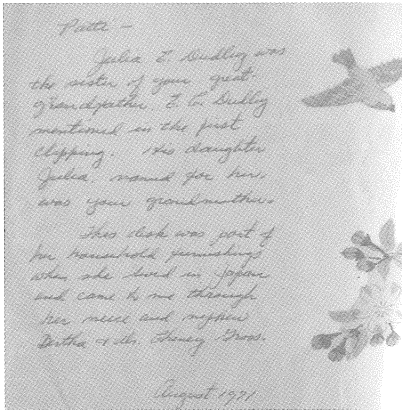


写真7 机の由来を記した1971年8月付
ジェーンさんの手紙

した。

エドワードさんの6人の娘のうち、左から4人目、レース襟の洋服に身を包んでいるのが、ダッドレー先生の名前をもらったジュリア・ダッドレー・ヘドガーさんです。机は、ダッドレー先生の妹メアリー・グロスさんの子供たちを経て、ジュリア・ダッドレー・ヘドガーさんの娘であるジェーン・ヘドガー・エンガーさんへと引き継がれました。

ジェーンさんは次女のパッティさんに、ダッドレー先生との関係や、机の由来を書きのこしていました。また、大切にしてきた机を、2003年、孫のジュリアさんに譲り、いつかこの机を神戸女学院へ送り返して欲しいと遺言して、2006年に亡くなりました。

ジュリアさんは、偉大な大叔母、ダッドレー先生にちなんで名づけられたジュリアという名前を誇りに思い、机を大切にしてくれました。お引越しの都



写真 8、9 インディアナ州サウス・ベンドのキンジー邸 2015年クリスマス

度、机が傷まないようにと、細心の注意を払って、たいへんな労力をつぎ込んで荷造りをして来られたのだそうです。

写真 8、9 は日本に机を送り返すプロジェクトにご尽力くださったみなさまの写真です。KCC-JEE 会長(当時)の杉浦剛さん・香さんご夫妻が、クリスマスにレキシントンのサムソン邸を訪問して机を確認してくださった帰途、インディアナ州サウス・ベンドのキンジー邸に立ち寄られ、キンジー先生ご夫妻ともども机の写真や付属品をご覧になっているところです。

3. 再び太平洋を渡って

2016年2月、分解されたうえで嚴重に梱包された机一式は、ケンタッキーのサムソン家から陸路ロサンゼルスへ、ロサンゼルスからは船で神戸へ、そして3月18日、2トントラックに乗って岡田山へやって来ました。

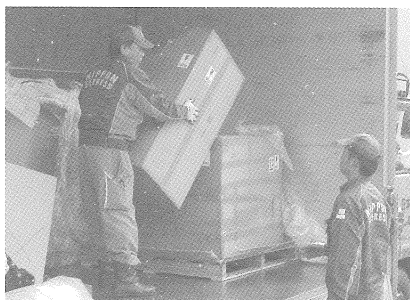


写真 10 岡田山に到着したトラック



写真 11 梱包を解く

現在図書館1階の史料室の閲覧室に置かれています(口絵参照)。寄贈のための書類を添付して下さったメールに、ジュリアさんは次のように書いていらっしゃいます。

I am so grateful the desk arrived safe and is finally back home where it belongs. I am so proud of my ancestors that made it possible for me to be the guardian of it and to fulfill the wishes of my family to see it safe. This is such a joyous occasion and I thank my Lord for making it possible.

机が無事に元あった場所に帰還を果たしたことをとても嬉しく思います。私に机を守り、そして無事に神戸女学院に送り届けるという一家の願いを叶えさせてくれた親族たちを誇りに思っています。この喜ばしい出来事を実現させて下さった主に感謝を捧げます。



写真12 ダッドレー先生の肖像写真

この机、近寄ってよく見ると、あちらこちらが日本製であることを伝えているようでした。しばらくして、御影にある頌栄保育学院の宣教師であったハウ女史の書簡(山中茂子訳『A. L. ハウ書簡集』学校法人頌栄保育学院頌栄短期大学、1993)の中に、「ダドレーさんと私とが絵に示し、さまざまの指示や提案を出して、家具職人とも数回長い『ソーダン』をした産物なのです。」という机に関する記述があることを、史料室の佐伯裕加恵さんが発見しました。やはり日本の家具職人が作ったものだったの

です。

先生の肖像写真で角が少しだけ写っている机、そんなにいくつも机をお持ちだったとは思えませんし、同じ机でありますよというのに関係者一同の思いなのですが、いかがでしょう。

7月8日の召天110年記念礼拝のことを、写真を添えてジュリアさんにお知らせいたしましたところ、とても嬉しいお返事をいただきました。

What a lovely portrait. Thank you so much for thinking of me and including me in the service. It makes me so happy to know Julia's belongings are where she would want them to be and being cherished.

なんて素敵なお画像でしょう。私のことを思い出して、記念礼拝に連らせてくださってありがとう。ジュリアおばさんの遺品が、あるべき場所で大切にされていることがわかってとてもしあわせです。

神戸女学院との新しいご縁によって、初めてグッドレー先生の肖像画にも出会っていただくことができました。故郷に帰った机に会うために、近いうちにご夫妻で一度学院をお訪ねくださるとのことですので、お目にかかれる日を楽しみに待ちたいと思います。

註

- ① 向かって右側の肖像画は、グッドレー先生の妹 Mrs. Mary Gross の曾孫にあたる Prof. Douglas Kinsey (ノートルダム大学名誉教授) 筆。また、12ページ掲載の系図中、グロス家に連なる部分は、夫人の Dr. Marjorie Kinsey 元総合文化学科客員教授から提供された情報を元に、玄孫にあたる Ms. Angie Gaspar KCC 理事からの情報を一部加えて作成した。ギャスパー氏は家族と共に2016年12月に学院を訪問し、「机」と対面した。
- ② グッドレー家の墓地の所在は、飯学院チャプレンにご教示いただいた Naperville Cemetery 705 S. Washington St., Naperville, IL 60540

- ③ コーベ・カレッジ・コーポレーション(Kobe College Corporation, 通称 KCC)は、デフォレスト第5代院長の呼びかけにより、1920年に学院の維持・発展を助けるために設立された。キャンパスの岡田山移転に際して、校舎建築費用として70万ドルの募金を集めてくださったことに始まり、現在に至るまで、絶えず神戸女学院の学びを支えてくださっている、アメリカ合衆国イリノイ州を本拠地とする非営利団体(NPO)である。2004年、KCCは21世紀におけるその活動方針を明確にするため、名前の後ろに"Japan Education Exchange"という副称を付け加えて、通称 KCC-JEE となっている。

本稿は、2016年7月26日(火)の大学礼拝における奨励を元に加筆・修正したものです。なお、文中に以下の写真を使用させていただきました。

- | | |
|----------|--------------------|
| 写真 2、12 | 院長室所蔵写真 |
| 写真 3、6 | 杉浦剛氏撮影 |
| 写真 4、5、7 | ジュリア・ヴァッサー・サムソン氏提供 |
| 写真 8、9 | 難波江仁美氏撮影 |

(院長室課長)